

(参考)

徳島県総合計画審議会「若者クリエイト部会」
H30年度「若者意見取りまとめ」について（文化に関する抜粋）

1 調査手法

- (1) 高校生・大学生アンケート（H30. 5月～6月実施）
県内在住の高校生1,420名、大学生約454名を対象としたアンケートを実施
- (2) 対話集会「新未来セッション」（H30. 7月12, 13, 17日実施）
県内3圏域で、高校生95名、大学生9名等から意見聴取

2 取りまとめの概要

(1) 目指す（描く）将来像

○郷土を知ることで徳島スピリッツが育まれる

子どもたちが徳島の自然や歴史はもとより、阿波藍・阿波人形浄瑠璃・阿波おどり・ベートーヴェンの第九など“阿波の文化”に親しみ、郷土に誇りを持ち、それを育んできた徳島を大切に思う気持ちが育まれている。

○やっばりステキ

徳島が誇る阿波おどり、人形浄瑠璃、第九、藍といった「あわ文化」や、雄大な河川や海岸でのラフティング、サーフィンなどの体験型スポーツ、また「徳島マラソン」や「マチアソビ」に代表される徳島発のイベントなどのとくしまの「自然」「食」「文化」や遍路文化で脈々と受け継がれてきた「おもてなし」の心が多くの人に評価され、国内外から観光客を惹きつけている。

○阿波おどりの聖地・徳島

多様な担い手によって受け継がれてきた“阿波おどり文化”が戦略的な情報発信により、阿波おどり発祥の地、阿波おどりの聖地としてあらためて脚光を浴びている。

○徳島の芸術文化がアツイ

子どもから大人まで、芸術や伝統文化への理解が深く、芸術活動を行う心豊かな社会となっている。

(2) 施策の方向性

○子どもを育む地域力の強化

学校・地域が連携し、阿波おどりをはじめとする徳島ならではの文化やスポーツ等の多様な体験、幅広い年齢層の集団の中で学びあう多くの機会を提供できるよう学校、事業所、地域のつながりを強化。

○芸術文化習慣

芸術文化をより身近なものとして感じるための芸術や伝統文化等に関するイベントや個展の開催促進。さらに、徳島県内での開催のみならず、AI・IoTを活かし、芸術文化に触れることができる機会の増大。【例：イベント等開催の際の徳島サテライト会場の設置など】